

平成 29 年度 地域リハビリテーション推進事業の実績について

理学療法士・作業療法士の職員 2 名が県内の障害者支援施設と生活介護事業所を訪問し、リハビリテーションの助言や技術指導等を行いました。

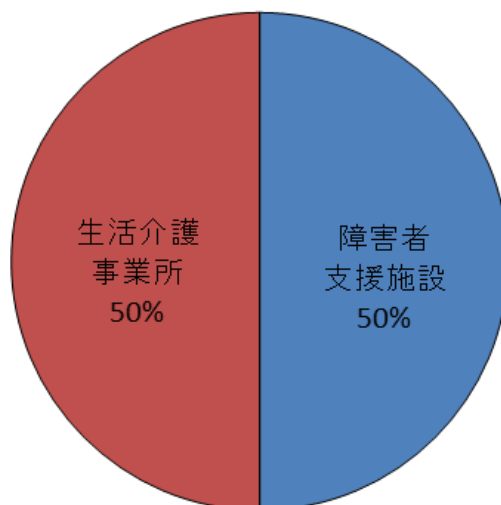
平成 29 年度は 6 施設を訪問し、本人やご家族、施設の職員等を合わせて 100 名の利用がありました。

【地域リハビリテーション推進事業により訪問した施設】

生活介護、自立訓練や就労移行支援等を行う障害者支援施設と、常に介護を必要とする方に、昼間・入浴・排泄・食事の介護等を行う生活介護事業所から申込みをいただきました。

施設種別	施設名		所在地	回数
障害者支援施設	1	しおみの里	日向市	2
	2	やまびこの里	宮崎市	1
	3	あすか園	串間市	1
生活介護事業所	4	都城市福祉作業所	都城市	1
	5	清水台スマイル館	西都市	1
	6	うからの里 高鍋事業所	高鍋町	1

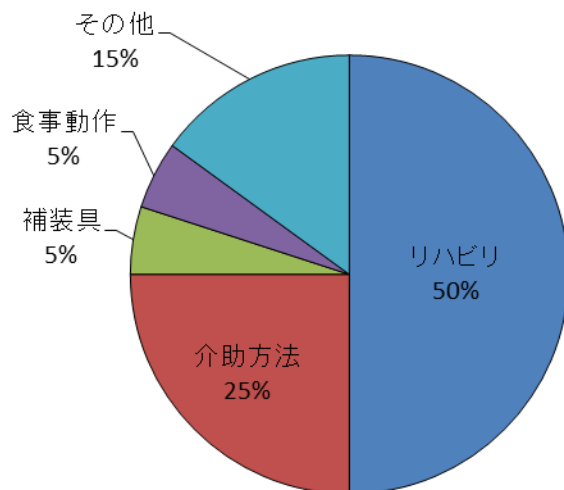
施設種別の内訳



【訪問相談の申込内容】

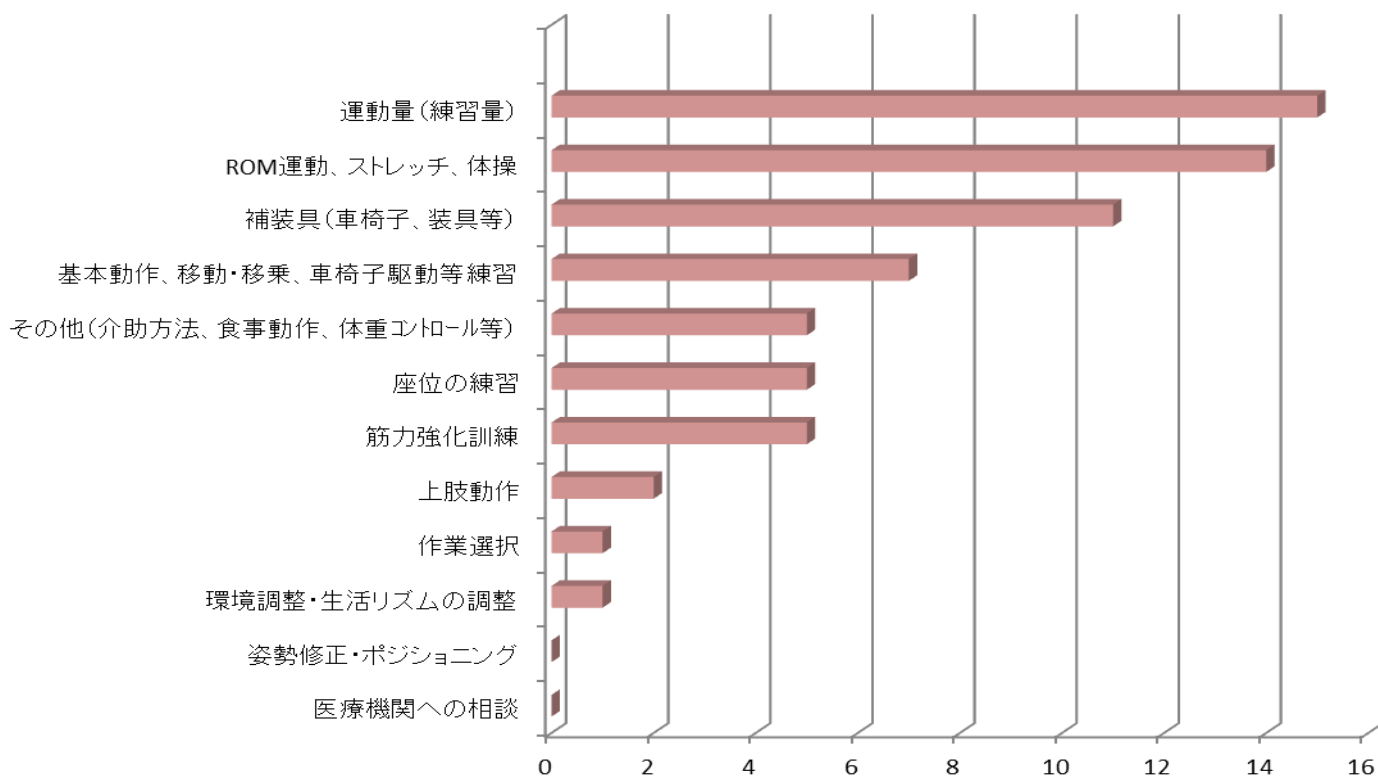
「相談・地域リハビリテーション申込書」に本人の身体状況や訓練内容等について分からない点を具体的に記載して申し込んでいただきました。

- ・補装具の選定
- ・立位・歩行訓練
- ・上下肢の筋力強化訓練
- ・職員研修
- ・運動、体操
- ・食事動作、食事時の姿勢
- ・歩行時の付き添い方法
- ・訓練の検証
- ・肺の機能維持訓練、呼吸訓練



【助言・指導の内容】

申込の内容に即して、職員 2 名が実地評価し、66 件の助言や指導を行いました。



【相談と助言・指導の実例】

肺の機能を維持するために効果的な呼吸訓練方法があれば教えてほしい

→胸郭をひろげて呼吸をしやすくしましょう

車椅子座位で両上肢を挙上しましょう。このとき棒を使用するとより均等に両上肢を挙上することができるため効率的です。バンザイするようなイメージで、両肩を大きくゆっくり広げてみてください（両肩関節180度屈曲）。肩に痛みがある場合は、横に広げる動きがよいでしょう。広げるときに鼻からゆっくり息を吸って、戻すときに口からゆっくり息を吐きます。

→腹式呼吸をしましょう

お腹に手を当てて膨らみを確認します。呼吸は鼻から吸って、口から吐きます。回数としては、1～2時間に4～5回できれば十分です。深呼吸をしすぎるとめまいや息苦しさなどの症状が出てくる場合がありますので注意してください。

今後車いすの購入を検討しているため助言してほしい

（片麻痺などにより右側の上下肢が動かしにくい方の場合）

→車椅子駆動を日常的に行いましょう

動かしやすい左側の上肢でハンドリムを駆動し、左側の下肢で方向転換と駆動を行うことで機能維持を図ることができます。骨盤が後ろに傾くことで臀部が滑り落ちる可能性があるため、支援者は姿勢に注意しながら見守ってください。

→車椅子の申請ができます

現在使用中の車椅子は、ご本人の身体寸法に適合していません。座奥や座高、バックサポート高をオーダーメイドで製作する必要があります。手続きは、身体障害者手帳を申請または再申請し、市町村の補装具窓口（車椅子）にお尋ねください。